



あちこ〜こ〜(できたてほっかほか)



の島豆腐はいかが?

ライフスタイルの変化、保存性の観点から、パック入りの豆腐をスーパーで買うようになって久しいと思います。

ここ沖縄では、豆腐屋さんに出向いて買いに行くことはほとんどなく、飲食物から雑貨までを扱う商店に豆腐は卸され、そこで購入するのが普通でしたが、今ではその商店も少なくなってしまい、その座をスーパーに譲ってしまいました。そのスーパーで、冷蔵ショーケースに陳列されているパック入りとは別に、ビニル袋に入り室温保存で販売される豆腐があります。

沖縄の豆腐はその製法に大きな違いがあり、そのため他と区別して、「沖縄豆腐」や「島豆腐」の名で呼ばれています。

現在でも島豆腐の製法を続けている豆腐屋さんも各地にあります。豆腐は、水に浸した大豆をすりつぶしたものを煮立てた後、おからと豆乳に分け、再度熱を加えながら凝固剤(にがりなど)を加え、型に入れ固める(煮搾り法)のに対し、島豆腐は、すりつぶしたものを煮立てる前に、おからになる部分と豆乳になる部分とを濾し分け、その絞り汁に熱を加え凝固剤を添加・型入れ・製品化する「生搾り法」となっています。

また凝固剤も海水由来の「にがり」を利用しているところが多く、豆腐と比べてナトリウム・マグネシウムなどのミネラル分が特に多く、食すと、うすうす塩味が固く、野菜炒めの中に島豆腐を入れるのが多い沖縄では、炒めた後でもその原型をとどめるほどです。

80年代くらいまで島豆腐は、成型用の木枠に入り、あつあつの状態で商店に入荷され、一番目に買いにいくと、木枠から外され、水抜き用の隙間でできた出っ張りがちょうど一丁分(約1kg)の境目になっていて、切り分けられるのを見ることができました。あまり早く買いに行く、若干未完成のまま入庫しているの、「固まるまで待つ」と店の人に言われたものです。

一丁ずつ切り分けられた島豆腐は、虫よけの食卓カバーをかけられて販売され、2〜3時間内には売切れていたと記憶しています。

このようにかつての沖縄では、「豆腐は温かいもの」という文化でした。そのため今でもパック入りより値段は高めですが、かつての製法・販売方法の島豆腐を買い求める人が数多くいます。温かいま室温に近い状態で販売するので、時間とともに傷んでいきます。厚労省の規格基準では当初、その保存方法として「飲用に適した冷水で絶えず換水しながら保存」とのことでしたが、沖縄が日本復帰後に、この条文では島豆腐は販売できなくなるので、関係者の方々が苦労され、「直ちに販売の用に供されることが通常である豆腐であればその限りでない」との追記してもらったとの逸話も残っています。

ビニル袋で販売している島豆腐は、熱を逃がすために、袋は空いたまま(写真右)で販売されています。また、傷んだものをできるだけ購入客に出さないよう、パン販売の焼き上がりの時間のように、1日2〜3回、入荷時間(9:00、11:00、17:00)をPOPで知らせているスーパーもあり、お客さんはビニル越しに豆腐の温かさを確かめながら、買い物かごへ入れていきます。



特徴のある島豆腐ではありますが、地域おこし・消費拡大を目指して、粉末化した島豆腐と吉野葛と合わせて麺に練り込んだ、「そうめん」と「うどん」を開発し、沖縄県内外で販売を開始した例もあり、県外百貨店のイベントでは好評を博し、別の形で島豆腐を味わってもらっています。

水やにがりの違いにより、地域でも味わいの異なる島豆腐を、沖縄にお越しの際はぜひご賞味ください。

沖縄県在住 城間 保

世界が注目する日本の伝統・文化を活かした宿泊型伝統医療施設で地域を再生したい!

湯治、座禅、和食(精進料理)そして日本古来の東洋医学(鍼灸、按摩、指圧、漢方)で、海外からのお客を誘致する「日本発伝統医療版メディカルツーリズム」を、世界各地の伝統医療を研究する伝統医療研究所がプロデュースします。インドの伝統医療アーユルヴェーダ施設の成功をヒントに、そのアイデアの概要をご紹介します。

今年2月に、インド発祥の「アーユルヴェーダ」を視察してきました。テレビなどでも話題の、額に油をたらす「シロダラ」をはじめとても気持ちのいい施術と、雄大な自然で、心も体もリフレッシュさせて頂きました。インドのこのようなリゾート施設は今、世界中のお客で賑わい、決して安価ではないにも関わらず、予約を取るのも困難な状況です。

海外からのたくさんのお客を惹き付けるのは、あふれんばかりの雄大な「自然」、長年培ったゆるぎない「伝統」がそこにあるからです。

伝統: まずメインは、インド発祥の伝統医療、アーユルヴェーダ。日本ではエステのように捉えられている方も多いのですが、歴とした医療として西洋医学で治らない難病を治療することもあります。そしてヨガ、瞑想のコースが毎日開催されていて、施術時間以外は自由に参加できます。普通のリゾートにはない、健康のためのインド発祥のアクティビティが充実しています。食も健康には欠かせませんが、インドと言え、カレー。カレーに含まれるスパイスは漢方の生薬と同様に、様々な効能があります。ただカレーを提供するのではなく、アーユルヴェーダの体質分類に合わせたメニューも用意されていて、バイキング形式で自分の体質にあったものを選択することができました。

自然: 私が宿泊した施設は、海に面した森の中にあるコテージで、基本的に一部屋が1軒の建物で、プライバシーが守られ、波の音や森の虫の声を聞きながら、ゆったりとした時間を過ごせるようになっていました。まるでインドの自然を貸し切ったようでした。これを日本に置き換えると、軸となるのは東洋医学。「日本発伝統医療版メディカルツーリズム」の案は、以下の通りです。

伝統: 日本の東洋医学は中国発祥の中医学がルーツで、現在、世界ではこの中医学の方が広く知られています。東洋医学は、明治時代に西洋医学が日本に入ってくるまでの1000年以上の間、日本で唯一の医療として様々な病氣と立ち向かってきた歴史があります。繊細な日本人に合わせて

独自の進化を遂げました。鍼を例にとると、中国のもの比べて非常に細く(究極は「刺さない鍼」というものも存在します)、体への負担や刺激が少ないので、痛みが苦手な世界中のお客様に満足していただけたと考えています。東洋医学に湯治や和食(精進料理や薬膳)と座禅を組み合わせ、総合的に健康を提供すれば、世界が注目する日本の伝統を、1カ所で満喫して頂ける施設となります。

自然: この施設を、過疎化が進む集落や廃村などで運営することで、世界中からお客がお見えになり、その地域の活性化を図ることができます。このような地域は、自然がとてもいい状態で残されていることがあります。今は住まわれていない古民家などを有効活用し、自然農など自然と共存し、循環できる形をイメージしています。引きこもりや退職後の元気な高齢の方、障がい者の皆さんの力を借りて、運営をすれば、人財の有効活用にもつながります。インドとの違いは、内容だけではなく、サービスの質でも表現したいと考えています。

日本ならではの「おもてなし」を体感して頂けるように、古来日本人が好んだ本物のサービスを再現するため、このイメージに近い老舗旅館などを視察しています。同時に、候補地探しのため、各地を回っています。



インドケララ州のアーユルヴェーダリゾートにて

今必要なのは、資金もさることながら何よりもこのアイデアに賛同して下さる協力者です。面白いと思ってくださった方、ぜひ私たちと一緒にこのプロジェクトに参画しませんか? 詳細はこちらをご覧ください。

<http://japangiving.jp/projects/2438/preview/3a91c83ddbebd2a1fd8b92a4dc901b6c>

また、アーユルヴェーダを実際に体験してみたいという方に、とっておきのご案内です。VEC様のご紹介で、アズトラベル様と2016年3月に、アーユルヴェーダのもう一つの本場・スリランカの「世界遺産に泊まる伝統医療体験ツアー」を企画させて頂いております。ご興味がある方はぜひお知らせください。

・アズトラベルサービス株式会社 柴辻様
as-travel@pop16.odn.ne.jp
・伝統医療研究所 畠中 m.hatanaka@shanti-ctm.com

伝統医療研究所 畠中 恵美
541-0044 大阪市中央区伏見町2-6-2-201 東洋医学サロンSHANTI内
<https://www.facebook.com/traditional.medicine.reserch>

～関東圏及び関西圏で地域密着型証券会社として活躍中の「むさし証券 大阪支店」様からIPO支援や業務内容などについてお伺いしました。

関西地区発展の為にベンチャーや法人及び個人へ今後とも尽力されることを期待しております！

Q1. 貴社の本社所在地、店舗エリアなどはどのようになっていますか。

A1. 社名「むさし証券」の通り、かつての武蔵国である埼玉県大宮を本社として、埼玉県内に15店舗を有する地域密着型の証券会社です。更に首都圏（東京営業部、新宿、横浜、久米川、青梅、市川の6店舗）関西圏（大阪）で営業展開しています。（平成27年7月末現在）

Q2. 貴社の方針や特色、また大阪地区での業務展開について教えてください。

A2. 弊社は昨年95周年を迎え、ホスピタリティをモットーにお客様のことを第一に考え、信頼関係を構築していくことを営業スタイルの原点として取り組んでいます。首都圏を背景に潜在的可能性を持った埼玉エリアマーケットだからこそ発揮できるリテール営業を強みとしています。同時にネット証券事業においても「トレジャーネット」のブランド力のもと、拡大展開しています。従って、お客様へより身近な対面営業と利便性のあるネット取引をご提供できる証券会社です。大阪支店では、関西圏全体におけるリテール、ミドルホールセールに取組んでいます。関西企業の情報発信、ビジネスマッチングの提案等、企業オーナー様や法人様へのソリューション営業を展開しています。

Q3. IPO支援やM&Aなどの取組みについて教えてください。

A3. 株式マーケットへの注目度が高まる中、新規上場件数は今後増加傾向が継続するものと思われます。企業の発展段階における成長マネーを供給する役割は一層高まると同時に、事業継承問題から発生するM&Aのニーズに対して、丁寧にお手伝いさせて頂いています。関西の元気な企業様への支援部隊として全力で取り組んでいます。

Q4. 株価が上昇していますが投資については、どのような心構えが必要ですか。

A4. 今回の株価上昇は、金融緩和と企業業績に裏付けされた「過熱感なき上昇」だと言えます。過去のバブル期の沸点には程遠い低温での上昇局面が継続しそうです。従って、長期保有前提のスタンスを継続し、ぶれない選択が望ましいと言えます。平成28年からNISA（少額投資非課税制度）が年間100万円から120万円に変更されます。更に、ジュニアNISAも導入され世代間の資産移転を促進できます。賢くNISAを活用し資産形成の見直しに取組む心構えと同時に実践が大切です。

Q5. VECへのご要望などお願いします。

A5. 創立40周年を迎えられ、誠にありがとうございます。まさしくベンチャー企業界に係る創生期から激動の流れを刻まれた歴史を感じます。ベンチャー企業の変遷はスピード感と産業構造は変われど、すべては起業する「人財」である点是不変です。従って、クラウドファンディングなど新たな資金調達手段を視野に、多様化する起業支援活動の更なる情報発信を期待しています。



～やさしい絵のみかた～ シリーズ <3>



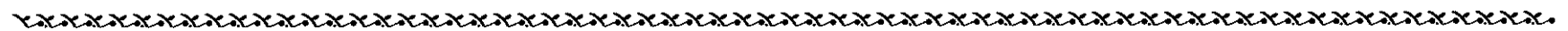
今回は美術館でみる特別な絵でなく「絵のある暮らし」を手軽に出来る飾り方や買い方のポイントをご紹介します。

買う時の基本はあまり難しく考えずに、なんとなく好き、と感じるものを選びます。色とか、花や風景など描かれているテーマや、タッチがいいとか。部屋に飾ると楽しいだろうなあと夢の膨らむ作品を。インテリアとして飾る時は、カーテン、ソファ、家具とかの色合いを考えながら。インテリアとしてではなくコレクションする場合は好きな作家の絵を集めたり自由に選びます。高い絵や有名な作家のものでなくても、お気に入りの作品を飾ると空間がいきいきとして、エネルギーを与えてくれます。スタートは玄関や居間に一枚の絵を飾る事からがおすすめ。玄関は多くの人が入り出す所で、第一印象が大切です。来客が一步玄関に入った時に圧倒される大きな作品より、壁面の広さを生かしたサイズを選び、住人の人柄が感じられる絵を。居間やダイニングはおもてなしや家族のだんらんの場所として、メインの絵は美しい作品やくつろげる楽しい作品を。又、裸婦や他には掛けづらい好みの絵はプライベートな空間の寝室へ。意外と活躍するのが小品です。階段や廊下など単調になりがちな所へ数点飾るとギャラリーの様にオシャレな空間に変身。

絵を飾る高さは絵の中心が目線にくる高さに掛けると納まりがよくステキです。壁にキズを付けたくないからと床に置いたりしますが、風水的にも感心しません。画廊で使用している絵画用のフックは細いピンを斜めに打ち込む様になっていて、おすすめします。

昨今、インターネットで絵を買う方、書店、デパート、展示会場、画廊と様々です。絵は小さな写真や画像で選ぶと、その作品から受ける臨場感が判らず、実際に届いた時、違和感があります。また、色の感じも思っていた絵と違う時があり、必ず現物を見て買う事が大切です。画廊など敷居が高いという方が多いようですが、気軽に覗いてみては如何でしょう。作品を選ぶ時に、版画やポスターとオリジナル（作家が直接描いた作品）の違いをよく質問されます。ミュージーズでも名前ばかり有名で価格の高い版画より、良質なオリジナル作品をご紹介します。マチエールの面白さや飽きがこない深みは、版画との違いで、素直に感動します。うるおいのある日常はお気に入りの一枚との出会いから。

GALLERYミュージーズ 鈴木 雅子



～労務トピックス～

今回は解雇についての概要を社会保険労務士の先生にお伺いしました。詳しくは専門家にお尋ね下さい。

Q. F社はA氏を1年の契約で雇用しています。A氏の成績の悪いことを理由に中途解約することはできるでしょうか？

● 会社は、有期雇用契約で「やむを得ない事由」がなければ、その契約期間が満了するまでの間においてA氏を解約することができません。（労働契約法第17条）やむを得ず解約する場合は、契約期間満了迄の賃金の支払いが必要になります。

厚生労働省通達（基発0810第2号）で、「やむを得ない事由」があると認められるには下記2点の要件が必要です。

1. 契約期間は「労働者と使用者が合意」により決定したものであり遵守されるべきである。
2. 解雇権濫用法理での「客観的に合理的な理由を欠き、社会通念上相当であると認められない場合」よりも厳格に解釈される。

例えば・・・悪質な非違行為等や天災事変その他経済的事情に伴う事業継続の不能等に限定されます。

Q. A氏はF社より条件の良いD社を見つけ、期間の満了を待たずに雇用契約を中途解約できるのでしょくか？

● 「やむを得ない事由」があるときは直ちに契約の解除をすることができます。

例えば・・・会社の賃金不払い・A氏の就労不能等重大な事由に限定されます。

問のように、A氏が今の会社より条件の良い会社に移る事を理由に中途解約することはできません。

問い合わせ先・VEC関西支部

～VEC関西より～

・さすが「てんこもり」の読者だけあって、今月号もお豆腐の話から、インド哲学。投資や絵の見方まで、まさに「てんこもり」、ますます面白くなってきました。ご愛読ありがとうございます。（本田）

・何年前から家庭菜園をしています。（プランターですが・・・）最初はゴーヤで始まり、トマト・きゅうり、失敗しながらも納得のいく物が出来るようになりました。今年は枝豆と甘唐辛子を植えました、赤くなることもあると書いてあったので安心して食べてみたところビックリ！！これは鷹の爪？？なんと赤唐辛子の苗が混ざっていたようです。口の中が大変なことになりました。食べたのは私ではありませんが…（笑）（藤本）

・7月のVEC交流会は通常の交流会と違い、現役大学生とのトークも加わり微力ながら私も進行に参加させて頂きました。皆さんパネラーの方々のコメントを一言も逃さないようにメモをしたり、最後まで熱心に聞かれている真摯な対応に感心いたしました。これ

から立派な社会人として旅立っていられることに影ながら応援したいと思いました。大学生の皆さん本当にお疲れ様でした。（濱本）

・沖縄在住の城間様から毎年恒例の沖縄メッセージを頂きました。地元の方しか判らない内容で是非賞味したいものです！盛夏にも拘らず皆様方から熱い思いのご寄稿を頂きありがとうございました。（澤村）

<交流会の予定>

平成27年9月8日（火） 日本電子工業株式会社
代表取締役 山之口 良子 様

一般財団法人 ベンチャーエンタープライズセンター関西支部
〒541-0053 大阪市中央区本町2-3-6 本町ビジネスビル9階
TEL 06-6263-0366 FAX 06-4964-6293